

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

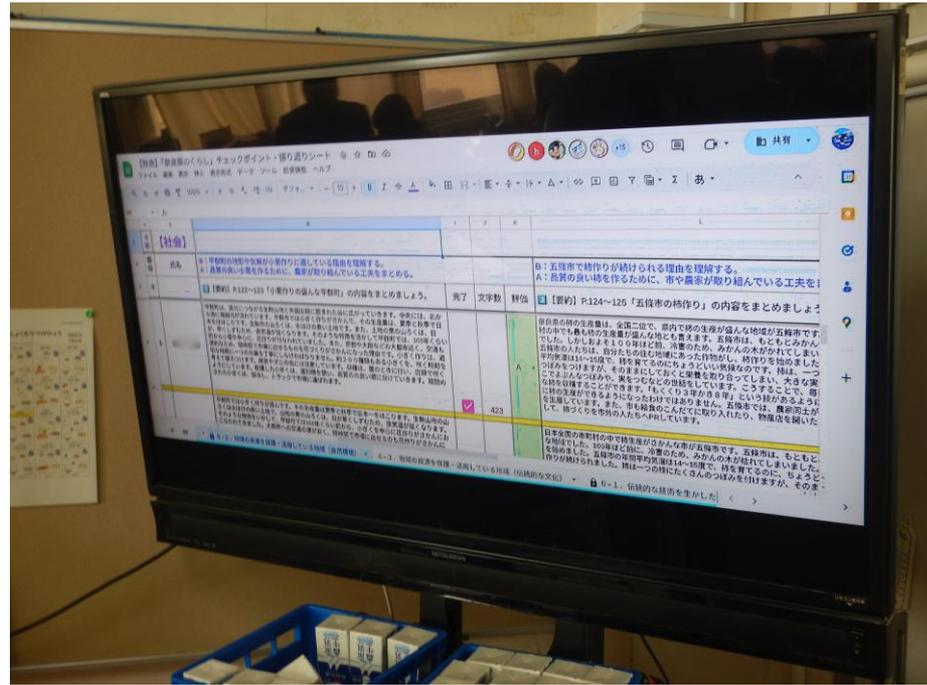
奈良市立佐保小学校（奈良県）【指定校】

## 【取組内容】 継続したタイピングの習得

### 【情報活用能力の育成】

各学年において、自らの学びの進捗確認や自らの学びの学び方を意識するため、共有されたスプレッドシートにて振り返りを継続的に実施している。低学年においては、文字の入力自体が不慣れなこともあり時間がかかってしまうが、継続して行うことで学年が上がるにつれ、自分の思いをスムーズに入力できるようになっている。

教員から振り返りの視点を示し、それに沿って入力する流れとなっているが、どうしてその視点が必要なのか日常的に交流することによって将来的には視点を提示しなくても振り返りが書けるようになることを目指している。



### 【児童と教員の様子】

はじめは「難しかった」や「楽しかった」等の感想のみの振り返りであったが、少しずつ自分を客観視して入力できるようになってきている。特に他者参照できるようにしていることの効果は大きく、自分にはなかった視点で振り返りを入力している児童の内容を参考にしてしている児童が見られる等変化がみられるようになった。